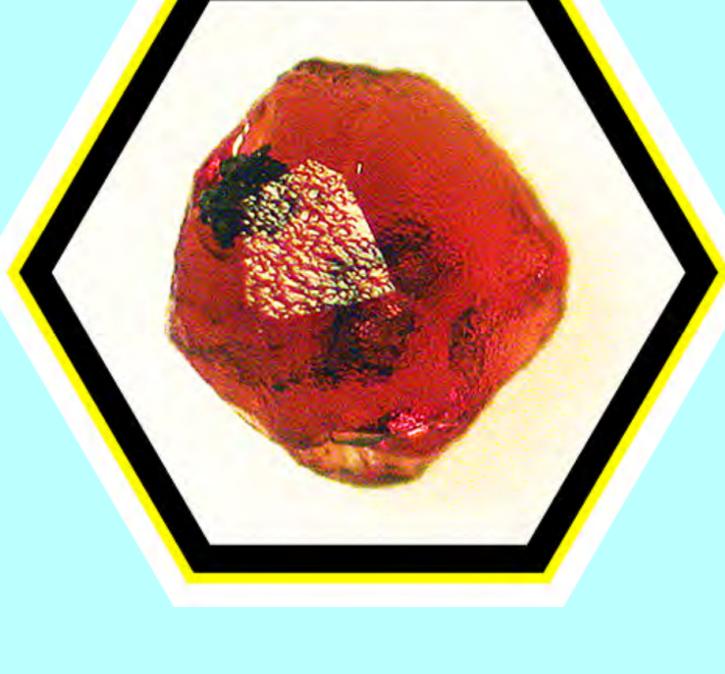


【1】赤いつぶ



<色>

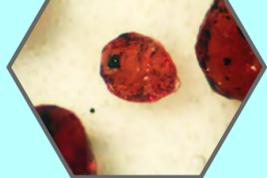
くらい赤色で透き通っているぞ。

<大きさ>

ボールペンの先と同じくらい。

<形>

板をたくさん組み合わせでつくれた玉みたい。丸っこいけど平らな面もある。



その正体は



ざくろ石（ガーネット）

地下深くのマグマの中でできた”鉱物”です。鉱物が溶けた状態であるマグマがゆっくり冷えることで、マグマの中で結晶となったもののひとつです。

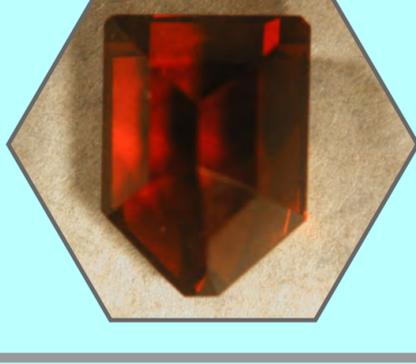


◆ざくろ石は、結晶の形が果物のざくろの種に似ていることからその名がつけました。大きい粒の結晶は「ガーネット」という名前の宝石としても知られています。

果物のざくろ



宝石になったざくろ石



◆神奈川県内では、丹沢山地の西側にみられる溶岩の中でざくろ石を見つけることができます。また、愛川町の相模川沿いや、鎌倉の山をつくる地層の中の火山灰からも、ざくろ石がみつかります。

県内で見つけられるざくろ石の大きさは、ほとんどが 1 mm 以下の小さなものですが、拡大するときれいな色や形がわかります。

丹沢にあった火山から流れ出した溶岩の中のざくろ石



ざくろ石を含む火山灰の層（愛川町小沢）



◆西丹沢でみられるざくろ石入りの溶岩と、愛川町や鎌倉でみられるざくろ石入りの火山灰は、実は同じ火山から出たものです。約 250 万年前、氷河期が本格的にはじまったころの時代には、丹沢山地には火山があり、大噴火を起こしました。その灰は千葉県の東側にまで到達しました。

250 万年前に火山があった西丹沢

